



平成 30 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 九州フィナンシャルグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 上村 基宏
コ ー ド 番 号 7 1 8 0 東証第 1 部 福証
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 林田 達
(TEL 096-326-5588)

「第 2 次グループ中期経営計画」の策定について

当社は、2018年 4 月（平成30年 4 月）から2021年 3 月（平成33年 3 月）までの 3 年間を計画期間とする「第 2 次グループ中期経営計画～融合ステージ～」(以下、本計画)を策定しましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本計画の位置付けと取り組むべき経営課題

当社グループは、目指す姿として「お客様にとって九州トップの総合金融グループ」を掲げ、これを「協働」、「融合」の 2 つのステージで実現すべく、第 1 次グループ中期経営計画（協働ステージ、平成27年10月～平成30年 3 月）を策定し、取り組んでまいりました。

「融合ステージ」と位置付けられる本計画では、第 1 次グループ中期経営計画の成果や経営環境の変化を踏まえ「地方創生」、「総合金融力（収益力強化、技術革新、高付加価値化、生産性向上）」、「グループガバナンス」、「人材育成」を経営課題とし、これらの課題に対応するためにスピード感を持ってグループの融合を進め、グループシナジーの最大化に取り組んでいきます。

2. 本計画の概要

別紙「第 2 次グループ中期経営計画～融合ステージ～」を参照ください。

3. 指標目標

項目		基準	最終年度目標
成長性	貸出金平残	2 行	7.6 兆円
	預金・NCD 平残	合算	9.2 兆円
収益性	当期純利益	連結	250 億円
	お客様向けサービス業務利益※		140 億円
	株主資本 ROE		4.0%台
効率性	OHR		70%未満
健全性	自己資本比率		10%以上

※お客様向けサービス業務利益：貸出金平残×預貸金利鞘＋役務収益等利益－経費

以 上

【本件に関するお問合せ先】

九州フィナンシャルグループ 経営企画部
TEL 096-326-5588



Kyushu FG

第2次グループ中期経営計画

～融合ステージ～

2018年4月～2021年3月

株式会社九州フィナンシャルグループ

Kyushu Financial Group, Inc.

1. 九州フィナンシャルグループの経営理念・目指す姿	3
2. 課題認識	4
3. 第2次グループ中期経営計画の位置づけ	5
4. 第2次グループ中期経営計画の概要	6
5. 基本戦略の体系	7
6. 活力あふれる地域社会の実現に向けて【地域活力共創】	8
7. 基本戦略	9
8. 指標目標	16

グループ 経営理念

1. お客様の信頼と期待に応え、**最適かつ最良の総合金融サービスを提供**します。
2. 地域とともに成長し、**活力あふれる地域社会の実現**に積極的に貢献します。
3. 豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます。

『お客様にとって九州トップの総合金融グループ』

◆ 「協働」⇒「融合」 2つのステージで実現

①協働ステージ

第1次中計（2015年10月～2018年3月）

【基本方針】

お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた
経営基盤構築

【3つの経営基盤】

- ① お客様の多様なニーズに応える「総合金融力」
- ② ステークホルダーに信頼される「ブランド力」
- ③ グループ全体最適を実現する「組織運営力」

②融合ステージ

第2次中計以降

- 協働ステージにおいて構築した経営基盤をもとに、グループ全体の融合を段階的に進め、経営基盤をより強固なものにする。
- グループの連結粗利益と経費効率の両面から、統合効果を最大限に発揮し、持続的成長に繋げる。

目指す姿

グループを取り巻く外部環境、内部環境、現在の中期経営計画の振り返りからグループの経営課題を認識し、第2次グループ中期経営計画としてこれらの課題に新たな価値を創造しつつ取り組んでいきます。

目的

グループ経営理念の実現

目指す姿

お客様にとって九州トップの総合金融グループ

第2次グループ中期経営計画

「成長性・収益性・健全性・社会性」の観点から新たな価値を創造

外部環境

地方の構造的課題

人口流出・少子高齢化

域内産業の縮小

相続預金の域外流出

マイナス金利の継続

急速な技術革新と実装加速

地政学リスクの拡大

グループ経営課題

地方創生

総合金融力

収益力強化

技術革新

高付加価値化

生産性向上

グループ
ガバナンス

人材育成

内部環境・現中計振り返り

収益性・効率性

コンサル・ソリューションカ

KFGブランドの浸透

技術革新への対応

生産性向上
(最適資源配分)

人材育成の強化

3. 第2次グループ中期経営計画の位置づけ

第2次グループ中期経営計画は、協働ステージにおいて構築した経営基盤をもとに、目指す姿『お客様にとって九州トップの総合金融グループ』の実現に向け、グループシナジーを最大化させていく「融合ステージ」と位置付けています。

第1次中計【協働ステージ】

【基本方針】

お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築

主な取り組み

【総合金融力】

- ・九州FG証券設立
- ・地域ファンド共同組成
- ・各種協働営業施策の推進 等

【ブランド力】

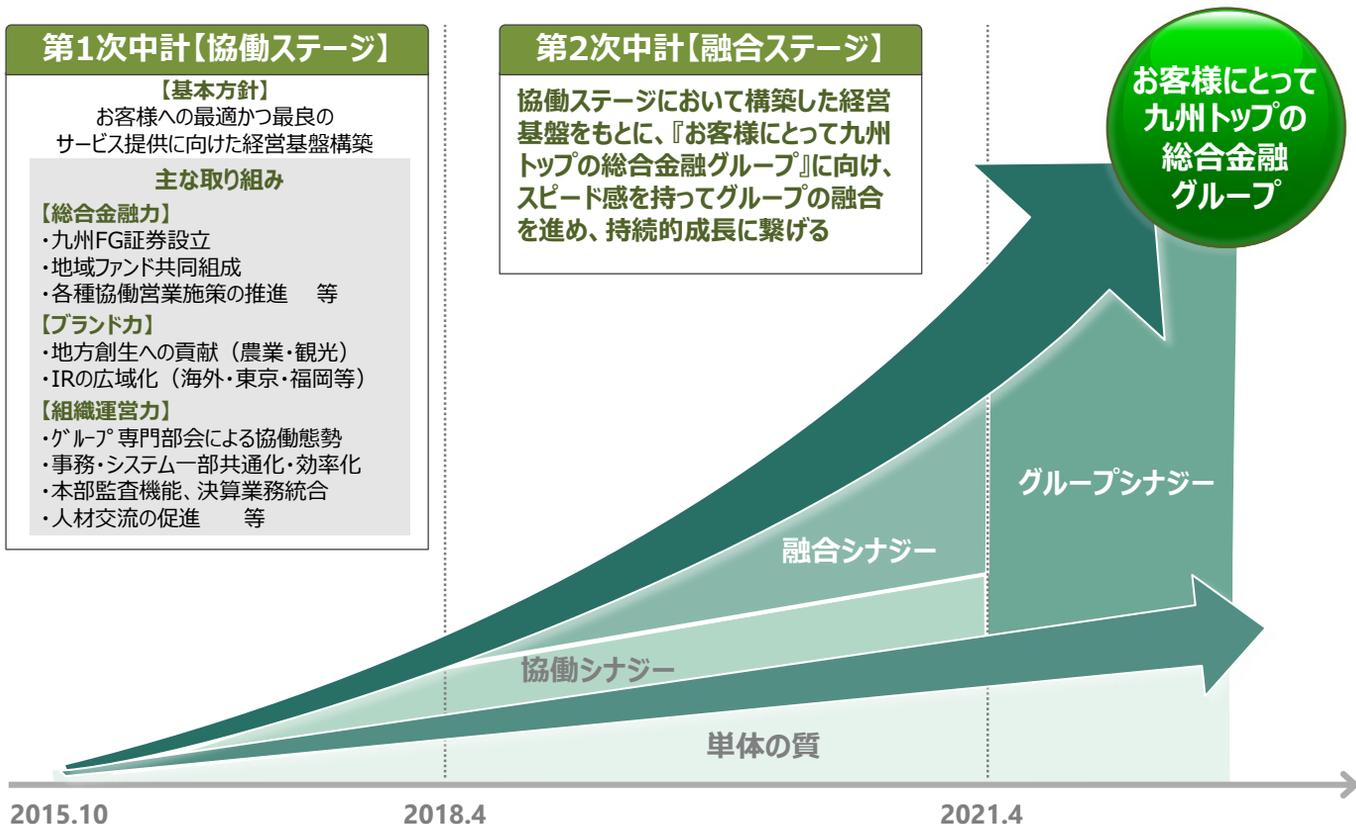
- ・地方創生への貢献（農業・観光）
- ・IRの広域化（海外・東京・福岡等）

【組織運営力】

- ・グループ専門部会による協働態勢
- ・事務・システム一部共通化・効率化
- ・本部監査機能、決算業務統合
- ・人材交流の促進 等

第2次中計【融合ステージ】

協働ステージにおいて構築した経営基盤をもとに、『お客様にとって九州トップの総合金融グループ』に向け、スピード感を持ってグループの融合を進め、持続的成長に繋げる



4. 第2次グループ中期経営計画の概要

第2次グループ中期経営計画は、グループの経営課題に基づき、基本戦略として『「地域活力共創」グループへの進化』『グループ人材力の強化』『グループガバナンスの高度化』の3つを掲げ、それぞれに取り組んでいく重点的なテーマとして「戦略の柱」を定めています。

名称 第2次グループ中期経営計画 ～融合ステージ～

期間 3年間（2018年4月～2021年3月）

目指す姿 お客様にとって九州トップの総合金融グループ

基本方針 お客様にとって最適かつ最良のサービス提供に向けたグループシナジーの最大化

基本戦略

戦略の柱

(1) 「地域活力共創」グループへの進化

- ①地域総合金融機能の高度化
- ②地域産業振興機能の発揮

(2) グループ人材力の強化

- ①人材マネジメントの高度化
- ②人材開発の高度化

(3) グループガバナンスの高度化

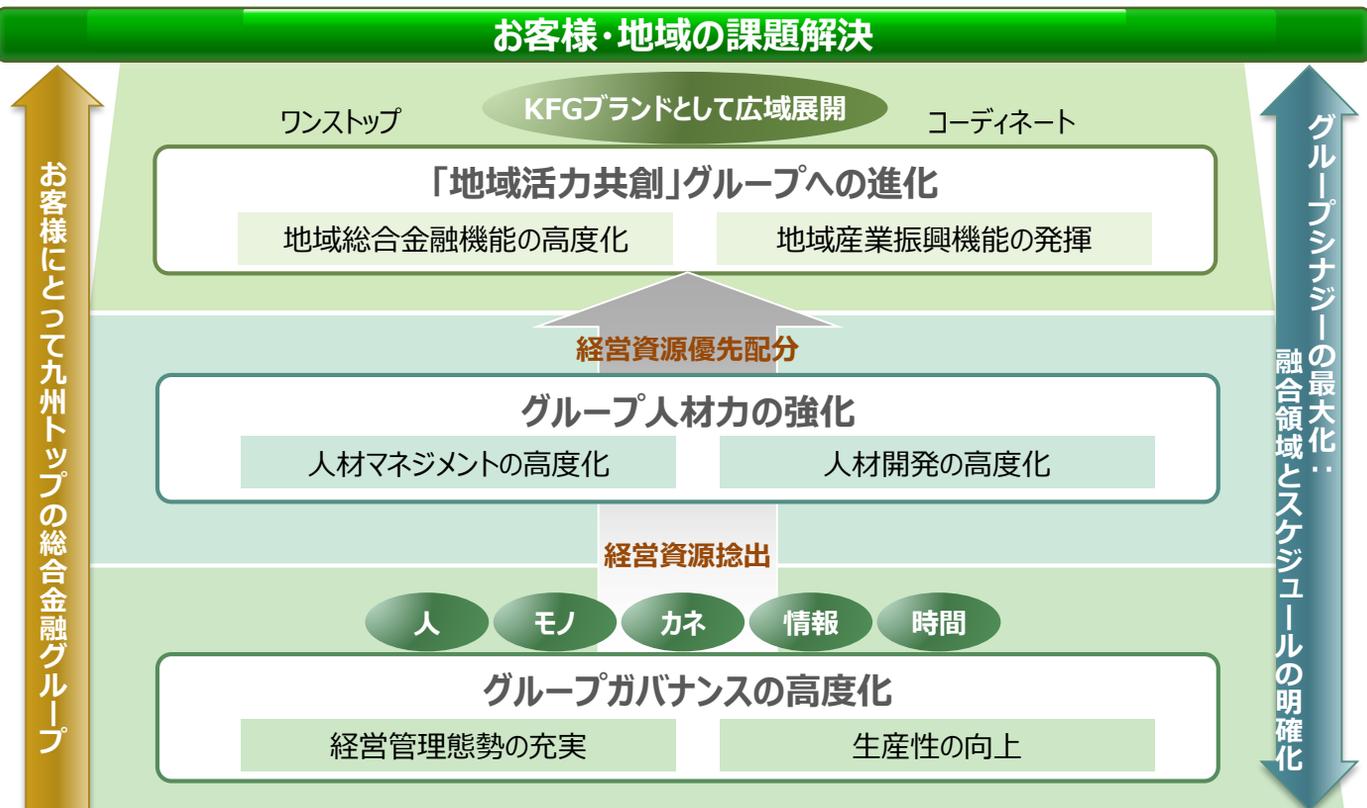
- ①経営管理態勢の充実
- ②生産性の向上

基本戦略

戦略の柱

5. 基本戦略の体系

お客様にとって九州トップの総合金融グループに向けて、「地域活力共創」グループへ進化していくために、グループガバナンスを高度化させて経営資源を捻出し、特に人材力を強化していくことで、お客様や地域の課題解決に努めていきます。あわせて各基本戦略において融合する領域およびスケジュールを明確にし、グループシナジーを最大化させていきます。



6. 活力あふれる地域社会の実現に向けて【地域活力共創】

本業である地域総合金融機能や金融面に留まらない地域産業振興機能を発揮することで、お客様や地域の長期的な成長を支援し、グループ経営理念に掲げる「活力あふれる地域社会」を、お客様や地域と共に創りあげていく総合金融グループを目指しています。

地域総合金融機能



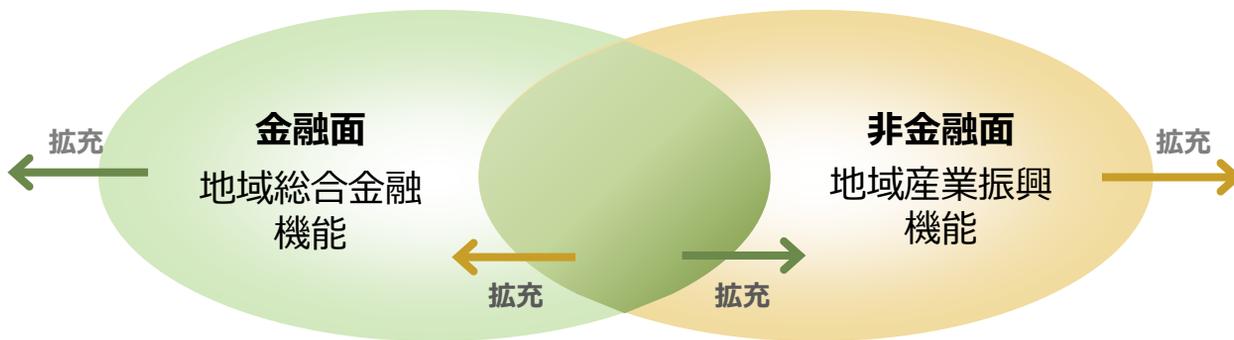
地域産業振興機能



地域活力共創

地域

地域の経済的付加価値向上
活力あふれる地域社会の実現

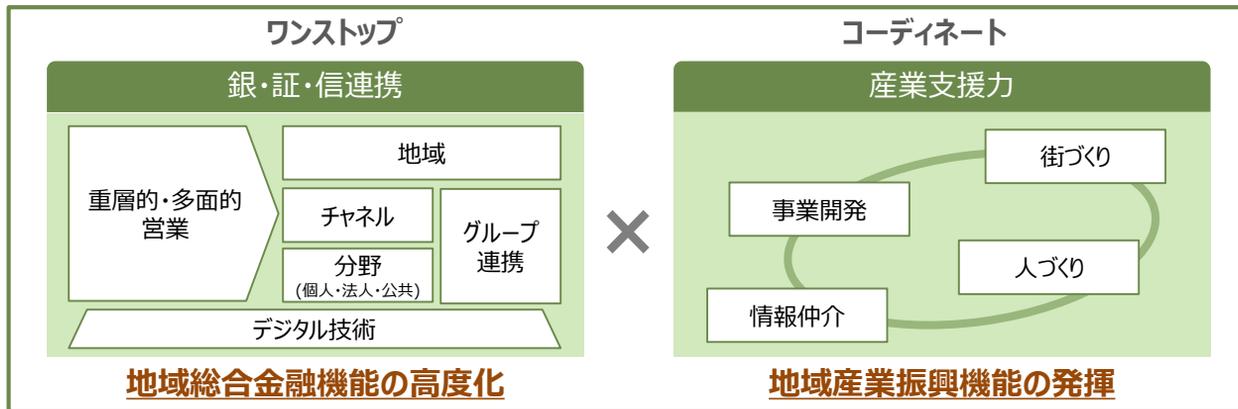


7. 基本戦略 (1) 「地域活力共創」グループへの進化

銀・証・信連携によるワンストップの総合金融サービスを提供するとともに、地域のコーディネートを通して産業支援力を発揮することで、お客様一人ひとりや地域の様々な課題解決に貢献していきます。そのために、外部パートナーとの連携・提携や出資・ファンド等を活用し地域産業の創出・育成にも積極的に取り組みながらグループの経営資源を有効に配分していきます。

お客様、地域の課題（ニーズ）

One to One マーケティング

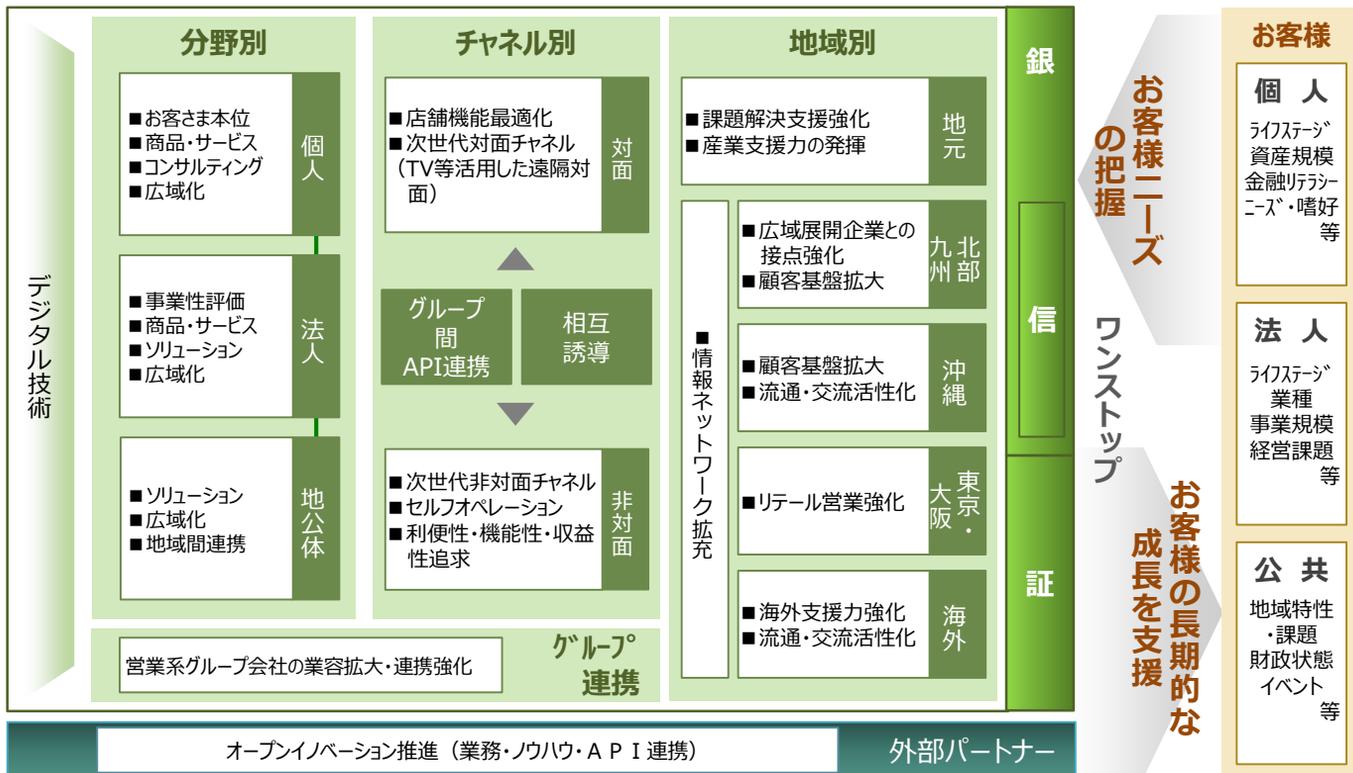


経営資源の有効配分



7. 基本戦略 (1) 「地域活力共創」グループへの進化

①地域総合金融機能の高度化 ～「銀・証・信」連携の確立～

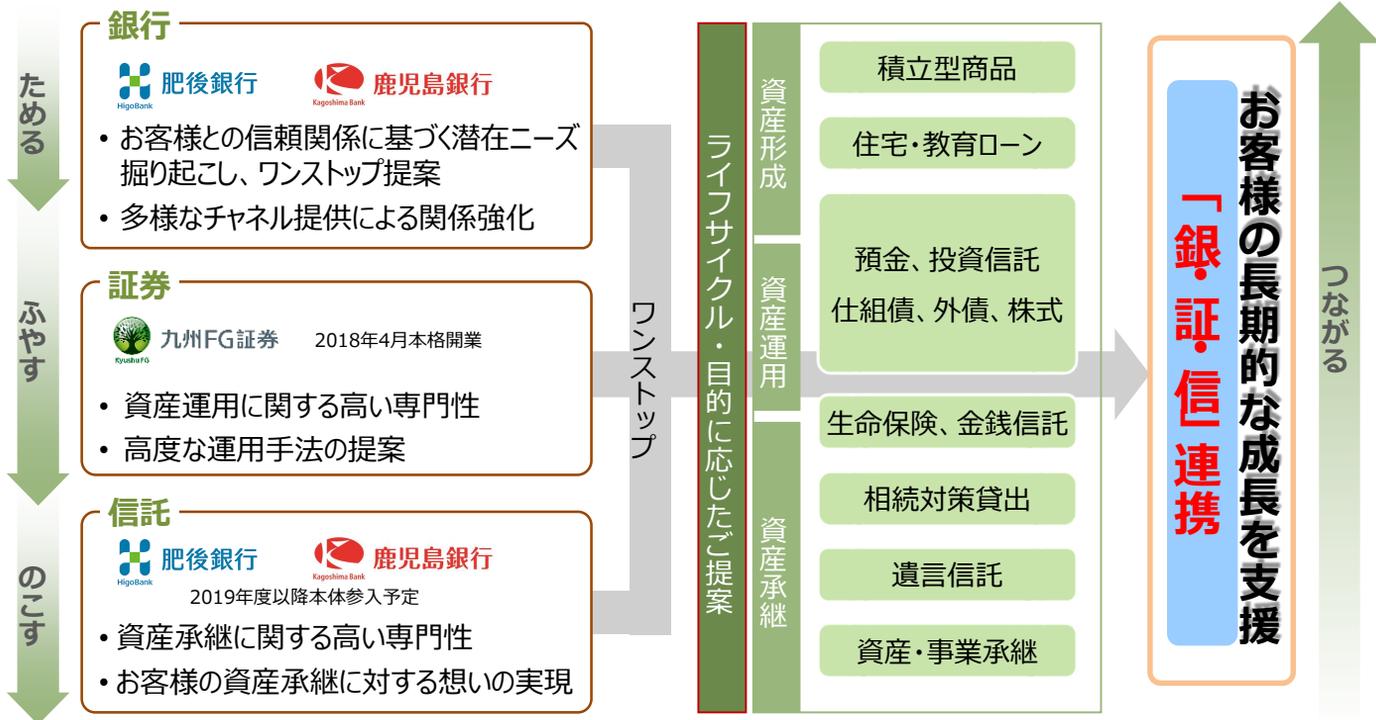


7. 基本戦略 (1) 「地域活力共創」グループへの進化

①地域総合金融機能の高度化 ～「銀・証・信」連携の確立（個人分野）～

銀行、2018年4月から本格開業する証券に加え、信託機能をグループ内に備え、3つの機能を連携させることで、お客様のライフサイクル・目的に応じたご提案をワンストップで実現し、お客様の長期的な成長を支援していきます。

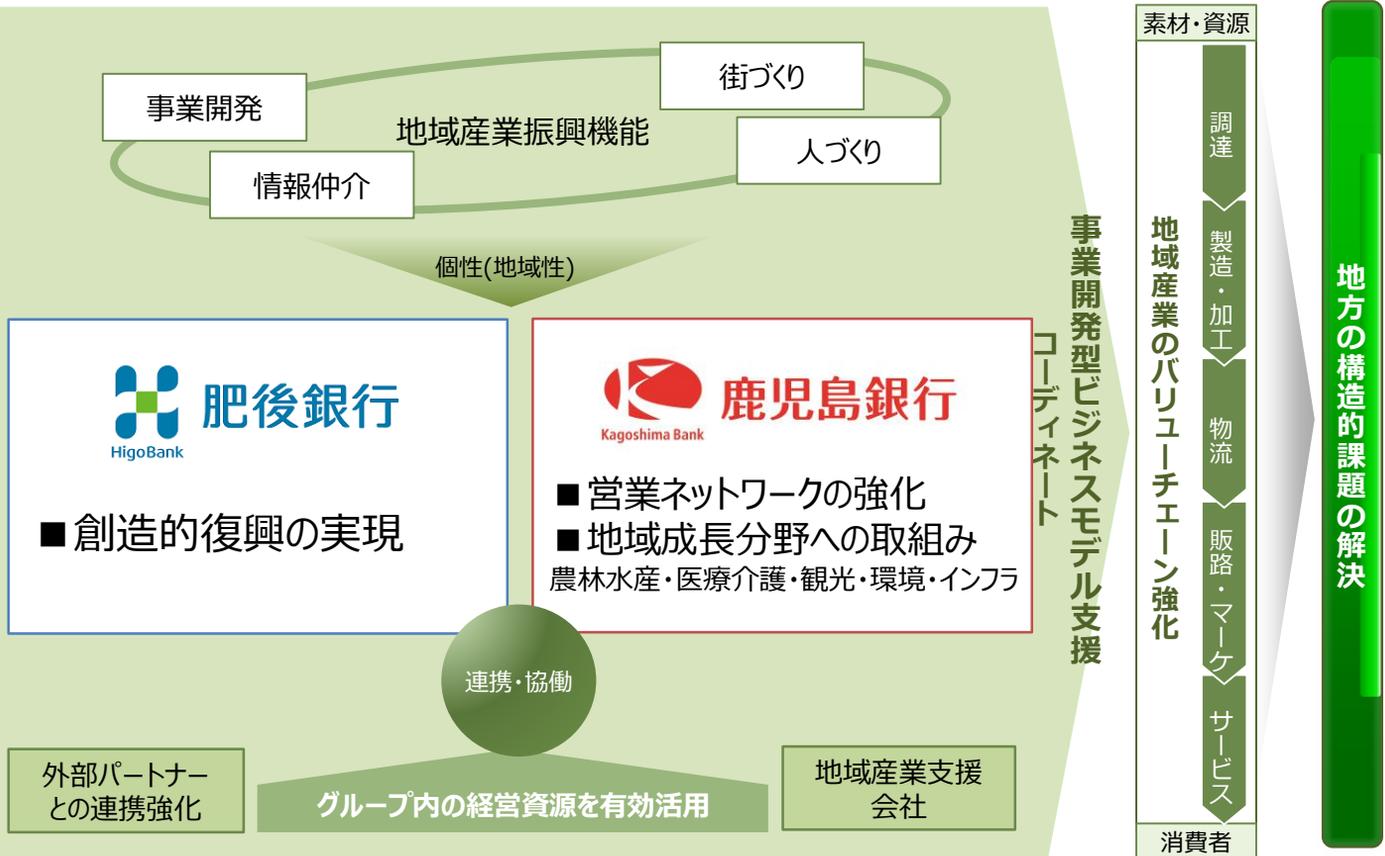
お客様



次世代

7. 基本戦略 (1) 「地域活力共創」グループへの進化

② 地域産業振興機能の発揮



7. 基本戦略 (2) グループ人材力の強化

戦略実現のための専門人材を育み、最適な人材配置を実現していくために、人材マネジメント及び人材開発の高度化にグループをあげて取り組んでいきます。

地域総合金融機能の高度化・地域産業振興機能の発揮

優先配分

グループ人材力の強化 ⇒ 戦略に基づく専門人材増加

人材マネジメントの高度化

グループ人材ポートフォリオの構築と人材の最適配置

個人の能力

専門人材管理

キャリア・スキル管理

外部人材活用

組織運営力

戦略的人員配置

人材交流

グループキャリアパス

グループ人材データベース



人材開発の高度化

戦略実現のためのグループ人材の高度化

人材開発力

キャリア目標

スキル診断

キャリア開発計画

育成手法

経営幹部

専門能力・新領域

業務・階層別能力

社会人基礎力・人間力

人材開発専門機関

<グループ共通プラットフォーム>

新卒・中途・
外国人採用

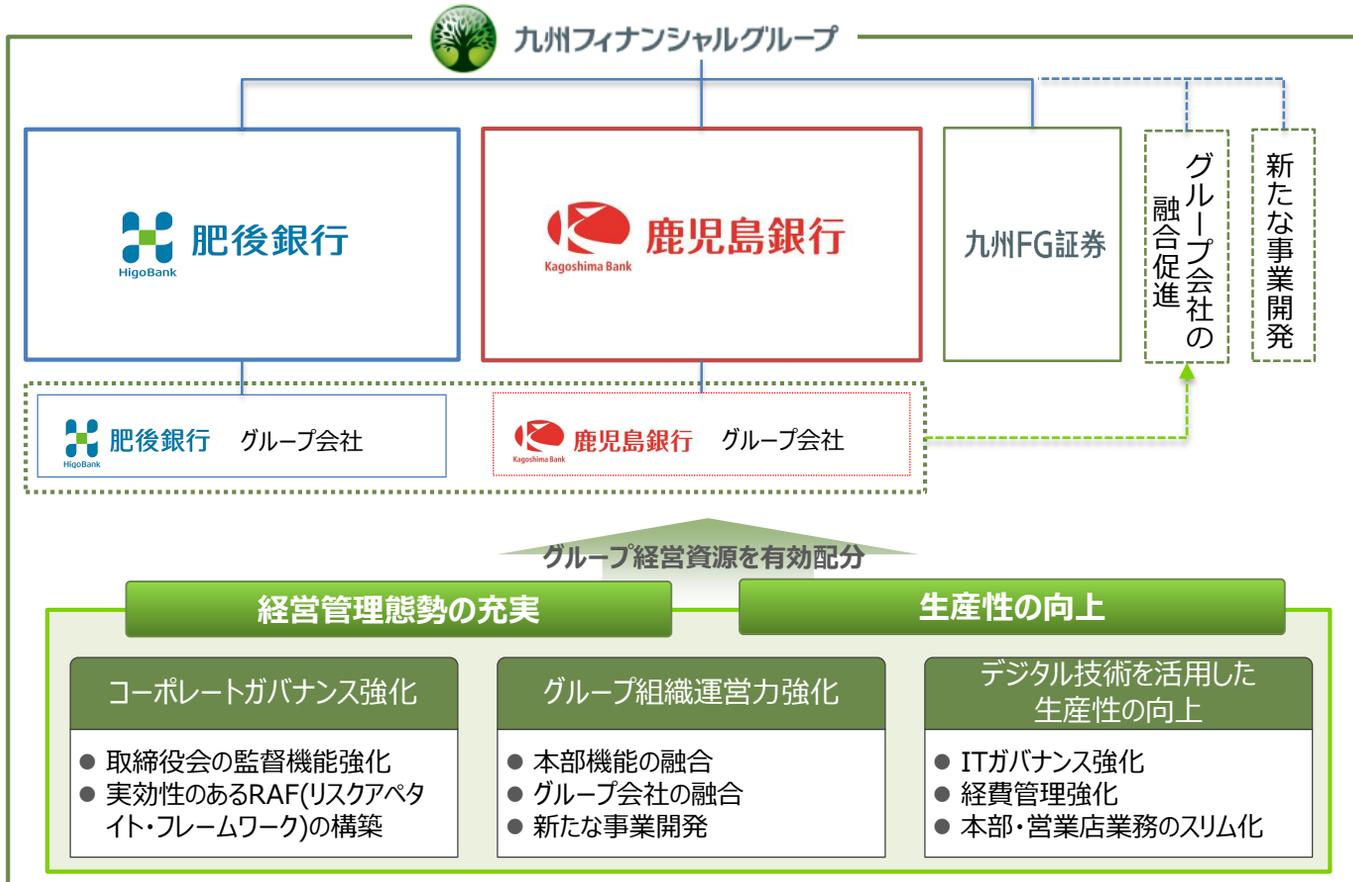
人事諸制度

福利厚生
退職金・企業年金

ダイバーシティ
マネジメント

7. 基本戦略 (3) グループガバナンスの高度化

経営資源（人・モノ・カネ・情報・時間）を捻出し、「地域活力共創」グループへの進化に向けてグループ内に有効に配分していくために、経営管理態勢を充実させるとともに、営業店や本部の生産性を高めていきます。

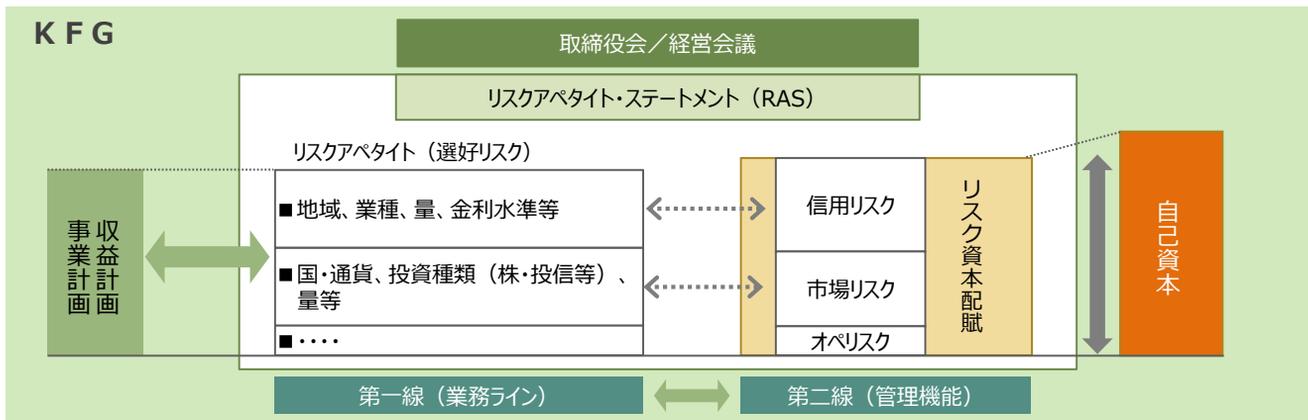


7. 基本戦略 (3) グループガバナンスの高度化

① 経営管理態勢の充実 ～実効性のあるRAFの構築～

グループベースのRAF構築を通じ、収益・リスク管理態勢を強化

グループRAF



リスク資本の協議

リスク資本配賦・モニタリング

肥後銀行RAF

事業
収益
計画

RAS (個別)

第一線

第二線

鹿児島銀行RAF

事業
収益
計画

RAS (個別)

第一線

第二線

各グループ会社RAF

将来を見据えた態勢構築

8. 指標目標

項目		最終年度目標値	基準
成長性	貸出金平残	7.6兆円	2行合算
	預金・NCD平残	9.2兆円	
収益性	当期純利益	250億円	連結
	お客様向けサービス業務利益※	140億円	
	株主資本ROE	4%台	
効率性	OHR	70%未満	
健全性	自己資本比率	10%以上	

※お客様向けサービス業務利益：貸出金平残×預貸金利鞘＋役務収益等利益－経費

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。



Kyushu FG



本件に関するお問い合わせ先

株式会社 九州フィナンシャルグループ 経営企画部

林田 TEL 096-326-5588